



春ニンジン

販売開発部営農振興課
営農指導員 松本 有希子

一般的に、ニンジンの生感として、ある一定の大きさになってから、15℃以下の低温に一定期間以上さらされると花芽が形成されます。そして、花芽が形成された後に高温が続くと抽苔が発生します。本葉3枚までは気温

（晩抽性品種）を選びましょう。
一般的に、ニンジンの生感として、ある一定の大きさになってから、15℃以下の低温に一定期間以上さらされると花芽が形成されます。そして、花芽が形成された後に高温が続くと抽苔が発生します。本葉3枚までは気温

（晩抽性品種）を選びましょう。

水はけの悪い圃場は「TCH712」を選びましょう。また、日陰や気温の上がりにくい圃場は抽苔が遅い品種

農業 テクニカル

Agricultural-work



品種選びのポイント

春ニンジンは、JA山武郡市ではスイカに代わる品目として栽培が普及しています。品種を選ぶ際には、表①を参考にしてください。
春ニンジンの品種を選ぶ条件としては、次の2つが上げられます。

① 作型と収穫時期

春ニンジンの作型には、ハウス栽培と露地トンネル栽培があります。ハウス栽培では、露地トンネルよりも気温の確保ができるので、早生系の「彩誉」がお勧めです。露地トンネルの場合は、梅雨入りまでに収穫するなら早生系の「彩誉」を、梅雨時期に差しかかるようであれば「シミ症」に強い「TCH712」を選びましょう。

② 圃場条件

水はけの悪い圃場は「TCH712」を選びましょう。また、日陰や気温の上がりにくい圃場は抽苔が遅い品種

ダイアリー



technical diary

半促成ナス



グリーンプラザ第一集出荷センター
営農指導員 川島 俊一



振り返り

本年度の半促成ナスは、5月以降、ハウス内が高温にさらされることが少なかったため、ボケ果の発生が少なく、正品率が高い年となりました。一方、ヤケ果や微量要素欠乏症状については例年並みに見られました。



アザミウマの防除

ナスで発生する害虫の中で、問題となるものの一つがアザミウマ類です。成幼虫が食害することで、特に果実やへタの部分にカスリ状の傷が発生し、正品率を低下させます（写真①）。天敵や農薬を上手に活用し、害虫の発生を抑えましょう。



天敵導入によるアザミウマの防除

第一集出荷センター管内で使用される主な天敵は「スワルスキー」です。近年、スワルスキーより低温でも働く「リモニカ」の導入をする圃場も増えてきています。リモニカはスワルスキーよりも捕食できる範囲が広く、おおむねスワルスキーと同等か、それ以上の成績を残していますが、コストがかかる、増殖するまでに時間がかかる、高温時に姿がやや見えな



ダニ類の防除について

近年、天敵の普及や農薬の特性などから、ハダニ類の被害が増えてきています。一度広がってしまつてから完全に防除することは難しく、その後の生育に大きく影響するため、早期の予防・防除を心掛けてください。



病気の防除について

天敵の導入により、葉散の回数が減ります。定期的な防除を行い、予防に努めましょう。



写真① アザミウマによる食害

くなるなど課題もあるため、その作型にあった導入を検討することが必要です。

天敵の導入時の注意点として、導入後2〜3週間は葉散を行えなくなるため、天敵への影響日数を十分に考慮し、天敵導入前にしっかりと化学的防除で病害虫を減らしておくことが重要です。また、導入後は粘着板などを使用し、飛び込みによる害虫の密度増加を防ぐことや、天敵や害虫の状況を常に確認しておくことが重要です。



化学的防除によるアザミウマの防除

天敵を使わなくても省力化が図れるため、ほとんどの圃場が蜂を利用しています。天敵を使用するときほどの農薬の制限はありませんが、影響日数に気を付けて防除を行いましょう。また、作物が大きくなってからの防除は難しくなるため、小さいうちから予防のため定期的に防除するよう心掛けてください。



春ニンジンの品種試験

毎年、有望品種を選定すべく、山武農業事務所と連携して品種試験を行っています。品種試験の目的は、品質、外観、形状、収量が優れているか、低温期の栽培なので、太りが早く、尻詰まりがよいか、抽苔やシミ症の発生が少ないか、などを調査することです。

今年度の品種試験は、早生系の試験として1月中旬播種の6月上旬収穫、晩生系の試験として2月中旬播種の6月中旬収穫で、計7品種の調査を行いました（写真②）。

今後とも継続して品種試験を行っていきます。



写真② 品種試験を行った彩誉（左）とTCH755（右）

表① 播種時期による品種の使い分け

| 播種期 | 12月 | | 1月 | | 2月 | | | 3月 |
|-------|----------|----------------------|----|----------------------|----|----|----|----|
| | 下旬 | 中旬 | 下旬 | 中旬 | 下旬 | 中旬 | 下旬 | |
| 作型・品種 | ハウス | 彩誉、愛紅 | | 翔彩 | | | | |
| | | 彩誉、愛紅 | | 翔彩 | | | | |
| | トンネル+マルチ | FSC-015、1008、1001、翔彩 | | FSC-015、1008、1001、翔彩 | | | | |
| | | FSC-015、1008、1001、翔彩 | | TCH-712、向陽2号 | | | | |

8月の分析経過について

残留農薬分析点数…合計0点（8月は実施なし）

土壌診断点数 …… 合計54点